

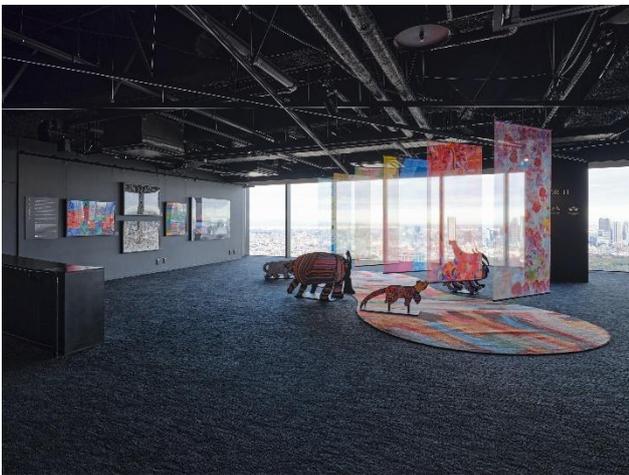
2025年1月16日(木)

渋谷スクランブルスクエア株式会社

SKY GALLERY EXHIBITION SERIES vol.8 ヘラルボニーによる企画展 「PARADISCAPE」異彩を放つ作家たちが描くせかい 本日開幕 展示作家とともに体験する創作ワークショップ他、イベントも開催決定！

「渋谷スクランブルスクエア」の14階・45階・46階・屋上に位置する展望施設「SHIBUYA SKY」（以下、本施設）は、「SKY GALLERY EXHIBITION SERIES」と題して、本格的な企画展を定期的で開催しております。8回目となる今回は、本日1月16日（木）から3月31日（月）まで、「異彩を、放て。」をミッションに掲げ障害のある作家とともに、新たな文化の創造を目指す「ヘラルボニー」による企画展『「PARADISCAPE」異彩を放つ作家たちが描くせかい』（以下、本展）を開催します。

また会期中、展示作家と作品を創作するワークショップや対話を楽しむ雑談型アート鑑賞プログラムなど、鑑賞するだけでなく参加型で楽しんでいただけるイベントも開催いたします。



開催概要

ヘラルボニーが贈る、異彩を放つ作家たちと SHIBUYA SKY のコラボレーション展示。多様な視点で描かれた生命の輝きが、渋谷上空を彩ります。

本展は作家たちの視点から「生命が輝く世界」を再構築する試みです。ある作家は、動物の「目」に込められた感情に惹かれ、またある作家は「色」や「形」を通じて生命のエネルギーを表現します。彼らが描くのは、日常の中で見逃されがちな生命の瞬間、異なる感覚で捉えた生命そのものの多様な風景です。彼らの視点や感覚を通して、新たな生命の魅力を伝え、訪れるひとびとに「世界」との心の対話を生み出す空間を構成します。ここ「PARADISCAPE」で、都会に息づく生命と圧倒的な景色が織りなす共生の理想郷を体感してください。

■企画名称：SKY GALLERY EXHIBITION SERIES vol.8

「PARADISCAPE」異彩を放つ作家たちが描くせかい

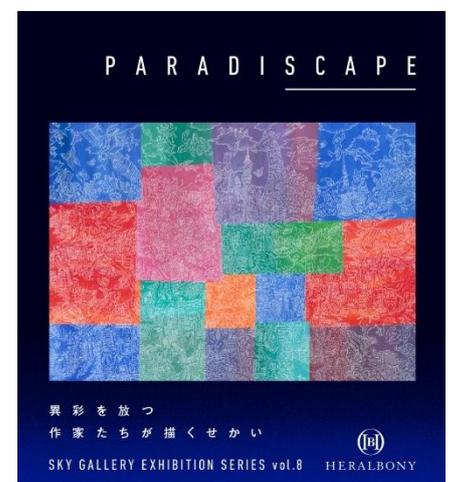
■開催期間：2025年1月16日(木)から3月31日(月)

各日 10:00~22:30 (最終入場 21:20)

※休館日：2月18日(火)

※短縮営業日：1月27日(月)・28日(火) 10:00-21:20 (最終入場 20:00)

■開催場所：SHIBUYA SKY 46階 屋内展望回廊「SKY GALLERY」



▲キービジュアル

■特設サイト：https://www.shibuya-scramble-square.com/sky/exhibition_heralbony/

■参加方法：

イベント当日のSHIBUYA SKY 入場チケット、もしくは年間パスポートをお持ちの方は、どなたでもご鑑賞いただけます。
入場チケットのご購入について、詳しくは下記サイトをご覧ください。

<https://www.shibuya-scramble-square.com/sky/ticket/>

※SHIBUYA SKY チケットは数に限りがございます。希望日時のチケットが完売の場合は購入いただけません

※4週間先の日付までの入場チケットをご購入いただけます

※入場後の滞在時間に制限を設けていませんが、退場後の再入場はできません

■出展作家一覧：

青木正臣 / 秋山住江 / 浅野春香 / 市村正道 / 伊藤大貴 / 岩瀬俊一 / 岩堀里美 / 内山 K. / 小野崎晶 / 木村全彦 /
国保幸宏 / 小林泰寛 / 佐藤皓平 / 澁田大輔 / 高田祐 / 高山凌賀 / 田崎飛鳥 / 樽井慎一郎 / 鳥山シュウ / 新田恵理 /
水上詩楽 / 藤田望人 / 柳生千裕 / Juri (50 音順)

■協力作家一覧：

安斎隆史 / 鈴木広大 / 谷田圭也之 / 三谷由美 / 和田成亮 (50 音順)

2種のアート体験イベント開催決定

①作家・田崎飛鳥とつくる 創作アートワークショップ

『「PARADISCAPE」異彩を放つ作家たちが描くせかい』の特別イベントとして、展示作家・田崎飛鳥氏をお招きし、創作アートワークショップ&アートクルーズ（展示鑑賞）を開催いたします。

本イベントでは、企画展の展示作家・田崎飛鳥とともに、自由な発想で創作アートを紡ぎます。眼下に広がる都市の息吹と、空とつながる開放的な空間に身を置きながら、心に響く色彩と形を描き出しましょう。完成した作品は額縁に入れてお持ち帰りいただけます。

さらに、ワークショップに先立ち、ヘラルボニースタッフがご案内するアートクルーズ（展示鑑賞）も実施。展示作品が奏でる物語に耳を傾け、心に宿る感性をゆっくりと育ててください。空とアートが交差する特別な場所で、あなたの内なる表現を解き放ってみませんか。



▲キービジュアル

■開催日：2025年2月24日(月・祝)

■開催時間：13:00~14:45 (集合：12:50)

■チケット料金：4,500円 (一律)

※チケットには「SHIBUYA SKY 入場チケット」「イベント参加費+額縁代」が含まれています

※小学生以上の参加を推奨いたします

※小学生以下のご参加は18歳以上の保護者の付き添いが必要です。創作アートワークショップに参加せず、付き添いのみをご希望の方は別途「付き添いチケット 2,200円」をご購入ください

※付き添いチケットのみで本イベントに参加できません

※イベント終了後、SHIBUYA SKY をご自由にご覧いただけます

■購入サイト：<https://shibuyasky-paradiscape-artworkshop.peatix.com>

※イベント前日の17:00に申込を締め切ります

※定員12名、定員になり次第販売終了

※詳しい注意事項については、購入サイトで必ずご確認ください

■ゲスト作家：

田崎飛鳥

陸前高田市在住。彼は生まれながらにして、脳性麻痺と知的障害がある。幼いころから絵本や画集に興味を持ち、彫金作家である父、實さんの勧めで絵を描き始めるとその才能は伸びていき、アート展では賞を受賞するまでに。東日本大震災の津波により、自宅、今まで描いてきた約200点の絵、親しんできた豊かな自然と、そこに住むひとびと…かけがえのない大切なものを一瞬で失い、あまりの衝撃と悲しみから、ショックで一度は筆を置いてしまったが、父からの言葉で再び筆を取り、壮絶な経験を経て、今まで多くの観る人の心を動かす。



▲田崎飛鳥

②感じて、語る。石井健介と巡る、雑談型鑑賞プログラム

「ブラインド・コミュニケーター」として活動する石井健介さんとともに、アート作品を巡る雑談型鑑賞プログラムを実施します。目の見えない石井さんが触覚や聴覚、言葉を通じてアート作品や会場の雰囲気を感じ、捉えているのかを対話型で参加者の皆さんと共有しながら進みます。視覚に頼らない新たなアートの楽しみ方を体験できる機会であり、アートが持つ普遍的な魅力が五感を通じてどのように伝わるのか、参加者自身の感覚を刺激する内容となっています。

■開催日：2025年2月16日（日）/2月23日（日）

■開催時間：

2月16日（日）

① 11:00～12:30（集合：10:50）

13:30～15:00（集合：13:20）【手話通訳あり】

2月23日（日）

② 11:00～11:45（集合：10:50）【短縮版 / 小学生向け】

③ 13:30～15:00（集合：13:20）

■チケット料金：大人 3,500 円(12 歳以上) / 小学生 2,000 円 (12 歳の小学生を含む)

※チケットには「SHIBUYA SKY 入場チケット」「イベント参加費」が含まれています

※対話型でのアート鑑賞プログラムのため、小学生以上の参加を推奨いたします

※小学生以下のご参加は 18 歳以上の保護者の付き添いが必要です。付き添いで参加する方も、参加チケットをご購入ください

※イベント終了後、SHIBUYA SKY をご自由にご覧いただけます

■購入サイト：<https://shibuyasky-paradiscape-artevent.peatix.com>

※イベント前日の 17:00 に申込を締め切ります

※各回定員 10 名、定員になり次第販売終了

※詳しい注意事項については、購入サイトで必ずご確認ください

■ゲストスピーカー：

石井健介（ブラインド・コミュニケーター）

1979 年生まれ。アパレルやインテリア業界を経てフリーランスの営業・PR として活動。2016 年の 4 月、一夜にして視力を失うも、軽やかにしなやかに社会復帰。ダイアログ・イン・ザ・ダークでの勤務を経て、2021 年からブラインド・コミュニケーターとしての活動をスタート。見える世界と見えない世界をポップに繋ぐためのワークショップや講演活動をしている。TBS ラジオ制作の Podcast 番組「見えないわたしの、聞けば見えてくるラジオ」パーソナリティ。

<https://kensukeishii.com/>



▲キービジュアル



▲石井健介

石井健介からのコメント

「何が見える？」と「何に見える？」って、似ているようでちょっと違う。

そのちょっとした違いをみんなで持ち寄って、自由に言葉にしながらか観賞するのが雑談型観賞のスタイル。

みんなで見るから、見えてくるものを見つけましょう。

HERALBONY in SHIBUYA SKY SOUVENIR SHOP

異彩を放つ作家の強烈なアイデンティティから生まれたアートプロダクトを展開する「HERALBONY」の期間限定ショップが、SHIBUYA SKY SOUVENIR SHOP 前に登場。

色彩豊かな定番のハンカチ・サブバッグ・ボトルを中心に多数販売予定です。本展オリジナルのポストカードや、展示作家のアートが起用されたプロダクトも登場します。

開催期間：2025年1月16日（木）～3月31日（月）

フロア：46F SHIBUYA SKY SOUVENIR SHOP 前

※ご来店は、SHIBUYA SKY 入場チケットの購入が必要となります

▼PARADISCAPE オリジナル商品

■HERALBONY | SHIBUYA SKY オリジナルポストカードセット (5枚入り)

販売価格 1,650円 (税込)



▲オリジナルポストカードセット

▼展示作家起用アイテム

■ハンカチーフ「海ガメ」岩瀬 俊一

販売価格 3,630円 (税込)

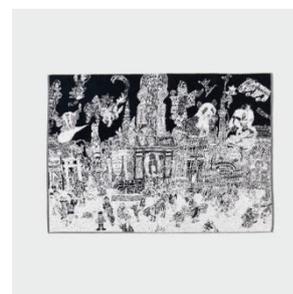
■タオルブランケット [MONOCHRO ART Series]

「東京」鳥山 シュウ

販売価格 22,000円 (税込)



▲ハンカチーフ



▲タオルブランケット

※HERALBONY 公式オンラインショップでも販売中です

<https://store.heralbony.jp/>

HERALBONY について

「異彩を、放て。」をミッションに、障害のイメージ変容と福祉を起点に新たな文化の創出を目指すクリエイティブカンパニー。障害のある作家が描く2,000点以上のアート作品をIPライセンスとして管理し、正当なロイヤリティを支払うことで持続可能なビジネスモデルを構築。ライフスタイルブランド「HERALBONY」の運営をはじめ、企業との共創やクリエイティブを通じた企画・プロデュース、社員研修プログラムを提供するほか、国際アートアワード「HERALBONY Art Prize」の主催など、アートを軸に多角的な事業を展開しています。2024年9月より海外初の子会社としてフランス・パリに「HERALBONY EUROPE」を設立。

コーポレートサイト：<https://www.heralbony.jp>

オンラインストア：<https://store.heralbony.jp/>



HERALBONY

■HERALBONY 公式オンラインストアにて出展作品を販売

本展でしか見られないアート作品が、HERALBONY のオンラインストアで購入可能に。

ご自宅でアートに触れる体験をぜひお楽しみください。詳しくは HERALBONY 公式オンラインストアをご覧ください。

販売開始日：1月16日 (木) 12:00～

販売場所：HERALBONY 公式オンラインストア

<https://store.heralbony.jp/pages/shibuya-sky-heralbony>

※ご購入いただける作品は、展示作品のうち一部の作品となります。あらかじめご了承ください



▲鳥山 シュウ「東京」



▲澁田 大輔「サバンナに生きる」

アートデータにおける著作権表示のお願い：

本文書に掲載されているアート作品の画像データは、すべて著作権者の貴重な作品です。これらの写真を使用する際には、必ず作品タイトルと作家名をご記載ください。

SKY GALLERY EXHIBITION SERIES について

渋谷は文化を生み出す街であり、本施設はそんな街との循環によって、渋谷とともに成長してゆく「知的好奇心を育てる施設」を目指しています。そのためにも、本施設のキーマッセージである『展望せよ。渋谷、世界、自分、未来。』を軸に、渋谷で文化を生み出しているパートナーやアーティストとのコラボレーションを通じ、新たな気づきを誘発するカルチャーコンテンツを企画・実施しています。

なかでも 46 階屋内展望回廊「SKY GALLERY」にて定期的に開催する「SKY GALLERY EXHIBITION SERIES」は、「視点を広げる」を共通テーマに、アーティストが本施設を体験したインスピレーションから制作されたオリジナル作品を主軸に展開する本格的なエキシビションです。

今後も本施設は、「SKY GALLERY EXHIBITION SERIES」を通じて、渋谷最高峰の景色を眺めるだけにとどまらず、まだ見ぬ世界への興味を抱かせ、想像力を育てる体験を生み出します。

■これまでの SKY GALLERY EXHIBITION SERIES

vol.1 EVEREST 都市と極地の高みへ	vol.2 FOCAL DISTANCE 焦点距離
開催期間 2020年6月1日～8月31日	開催期間 2020年11月1日～2021年1月17日
写真家石川直樹氏が自ら登り、撮影したエヴェレストの写真を SKY GALLERY の空間構成に沿って展示。当企画は、本施設の体験設計のベースとなっている通過儀礼や山登りの体験構成にフォーカスを当て、体験の類似性と異なるスケールを持った世界の可能性を“直感的”に示すことで、目に見える景色の先に世界はつながっているという事を示唆しています。	アーティストの岩崎貴宏による、観る者の視点に潜む焦点距離を変化させることに着眼した変貌する都市のポートレートの作品を展示。 作家自身が SHIBUYA SKY を体験したインスピレーションから制作されたオリジナル作品を主軸に展開。
	
vol.3 Everyone's sky 消えゆく風景への旅 by TRANSIT	vol.4 DOWN TO TOWN
開催期間 2020年6月1日～8月31日	開催期間 2022年5月20日～7月24日
2020年9月に TRANSIT から発行された「TRANSIT49号 美しき消えゆく世界への旅」の誌面企画から、“海 (Sea)・森 (Forest)・動物 (Animals)・眺望 (The View)”という4つのエリアに分けて再構成した写真／読み物パネルを <SKY GALLERY> 回廊内の壁面4箇所 に散りばめ、回遊しながら楽しめる空間展示としています。屋上から 360 度に広がる景色を体験した後、その先に広がる世界のさまざまな環境問題に目を向けるきっかけをつくります。	「DOWN TO TOWN」は、アートチーム「SIDE CORE」がキュレーションする、匿名アーティストグループ「EVERYDAY HOLIDAY SQUAD」による個展です。渋谷で一番高所に位置する SHIBUYA SKY 46 階「SKY GALLERY」を展示会場とし、「望遠鏡を覗いて鑑賞すること」や「独自の視点で作られた地図を持って街を歩く」という行為を通じて、アーティストのアイデアに触れながら街を散策(down to town)し、街に対する新しい視点の獲得をうながしました。渋谷という街の中でこそ生まれる特別な体験を提供しました。



vol.5 目 [mé]

開催期間 2023年1月13日～3月24日

都市の運動から抜け出し「ただ、眺める」。をテーマに、これまで展示空間と観客を含めた状況をつくることで空間を変容させ、現実の不確かさをひとつひとつに体験させてきた現代アートチーム「目 [mé]」の企画展を開催。作家の観点と非日常から世界を眺めることを可能にする SHIBUYA SKY の視座を重ねることで、都市は一つの大きな運動体でありながら、その運動を担う私たちはそれぞれの固有の時を歩んでいるという世界の姿をただ、眺めることを促しました。

vol.6 TOKYO GAMES

開催期間 2023年5月25日～7月30日

写真家・松岡一哲は、身近な被写体や日常を切り取りながら、存在の固定概念や言葉の枠組から取りこぼされる世界の実存をフィルムに焼き付けてきた。本展では、SHIBUYA SKY の展望空間から望むことのできる東京の数カ所の街で撮り下ろしたポートレート 32 点を含む総数 42 点の作品を展示。展望空間では東京の遠景を、展示空間では近景を、と異なる視点・視座から見つめる体験を提供しました。



vol.7 「Ding-dong, ding-dong ～Bells ringing at the bottom of the valley～」

開催期間 2024年1月23日～3月31日

茨城県水戸市を拠点とする美術家中崎透は、渋谷という街に深く関わりながら独自の人生を歩む、年齢や性別、職業の全く異なる三人のインタビューを実施。決して交わり合う事無かった三つの人生が、中崎の新作を中心とした作品群と共に紡がれていきます。鑑賞者はこの舞台に散りばめられた断片を通して、ここ SHIBUYA SKY の上空から見下ろす街のイメージとのズレ、自らの今や人生との差異に触れながら、社会といち個人の間にある影響の密接さを感じることでしょう。再開発が続くこの街の輪郭は常に変化していきますが、その輪郭もまた揺さぶられる体験になるかもしれません。



「SHIBUYA SKY」について

■SHIBUYA SKY

本施設は、14階～45階の移行空間「SKY GATE」、日本最大級の屋上展望空間「SKY STAGE」、46階の屋内展望回廊「SKY GALLERY」の3つのゾーンで構成されております。渋谷最高峰の地上229mから広がる360度の景色を眺めるにとどまらず、一連の体験を通じて知的好奇心を刺激し、想像力を育む展望装置です。

名称：SHIBUYA SKY

フロア：14階（チケットカウンター）、45階・46階（屋内展望施設）、屋上（屋上展望空間）

高さ：地上229m

営業面積：屋上展望空間 約2,500㎡、屋内展望施設 約3,000㎡

営業時間：10:00～22:30（最終入場21:20）※最新の営業時間は公式WEBサイトをご確認ください

休館日：元日（※臨時休館日あり）

公式WEBサイト：<https://www.shibuya-scramble-square.com/sky/>



<施設およびチケットに関するお問合せ先>

SHIBUYA SKYお問合せ窓口 TEL：03-4221-0229（受付時間10:00～20:00）

<渋谷スクランブルスクエア 概要>

名称：渋谷スクランブルスクエア／SHIBUYA SCRAMBLE SQUARE

事業主体：東急(株)、東日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)

所在：東京都渋谷区渋谷2丁目24番12号

用途：事務所、店舗、展望施設、駐車場など

延床面積：第Ⅰ期（東棟）約181,000㎡、第Ⅱ期（中央棟・西棟）約96,000㎡

階数：第Ⅰ期（東棟）地上47階 地下7階、
第Ⅱ期（中央棟）地上10階 地下2階、（西棟）地上13階 地下5階

高さ：第Ⅰ期（東棟）約229.7m、第Ⅱ期（中央棟）約61m、（西棟）約76m

設計者：渋谷駅周辺整備計画共同企業体

※(株)日建設計、(株)東急設計コンサルタント、(株)JR東日本建築設計、
メトロ開発(株)

デザイナー・行外：(株)日建設計、(株)隈研吾建築都市設計事務所、(有)SANAA事務所

運営会社：渋谷スクランブルスクエア(株)

※東急(株)、東日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)の3社共同出資

開業：第Ⅰ期（東棟）2019年11月1日

第Ⅱ期（中央棟・西棟）2027年度（予定）

URL：<https://www.shibuya-scramble-square.com>



▲渋谷スクランブルスクエア外観

<本件に関する報道関係者さまからのお問合せ先>

渋谷スクランブルスクエア PR 事務局（株式会社サニーサイドアップ内）

担当：岡山（070-3315-4410）、蟹江（080-3438-6047）、土居（090-6653-2270）

E-mail：scramble_square_pr@ssu.co.jp